

福島県

福島県公立学校退職校長会

結成 昭和40年4月9日

県内16の支部において、小学校、中学校、県立学校の校長経験者を一本化した組織として会員数386名で発足・結成されて以来「会員相互の旧交を温め、生活の向上を図る」「本県並びに我が国教育の向上を図る」ことを目的とし60年にわたる歴史を積み重ねてきた。近年は、定年延長や価値観の多様化などにより会員数が減少傾向にある。平成23年3月に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から14年が経つが、原発立地地区の双葉支部などでは、未だふるさとを離れ県内外で避難生活を余儀なくされ、復興道半ばである中、全国の皆様の温かい励ましを糧とし被災支部活動の再建・支援に向けて全力で取り組み続けている。また、令和元年に発生した新型コロナウイルス感染症により県大会の中止・延期や大会要項の全会員配付、評議員会や支部長会の書面開催など本会活動・運営に大きな影響を与えた。



□□現在の組織活動（コロナ禍前と同様の活動を実施している）

- 1 評議員会 本会の決議機関。役員を選出・予算その他重要事項の審議に当たる。
- 2 理事会 年1回、評議員会提出議案及び会務の執行について協議する
- 3 支部長会 年1回、次年度評議員会の方向性や各支部活動の現状や課題、本会運営に関する要望・意見を聴取し、本会活動の充実を図る。
- 4 県大会 毎年、県内4ブロック持ち回りで開催している。講演・体験発表を柱とする研修の場とするとともに互いの親睦・交流を深める。
- 5 要望活動 毎年現職校長の代表者と懇談会を持ち、懇談内容を基に県教育長、市町村教育長、首長に対して、教育等の充実について要望活動を行う。
- 6 事務局会 年8回、事務局長、総務・会計・調査・広報の各部の計画に基づき事務・事業を実施するとともに、上記1～5の企画運営を行う。

□□特色ある活動 等

- ◎「創立60年記念二本松大会」を令和6年6月開催 ◎創立60周年記念誌「60年のあゆみ」の発刊、全会員に配付 ◎DX化の推進による活動の充実 ホームページの充実と関係機関とのリンク ◎社会貢献活動重点期間（令和4年度から令和8年度）設定
- ◎第50回東北地区退職校長会協議会福島大会の開催（令和6年10月8、9日）2日目に視察研修（原発立地地区である浜通りの復興・創生状況を視察：写真参照）
- ◎評議員会、支部長会、理事会時に県教委関係者等を講師に招聘し研修の時間を設定